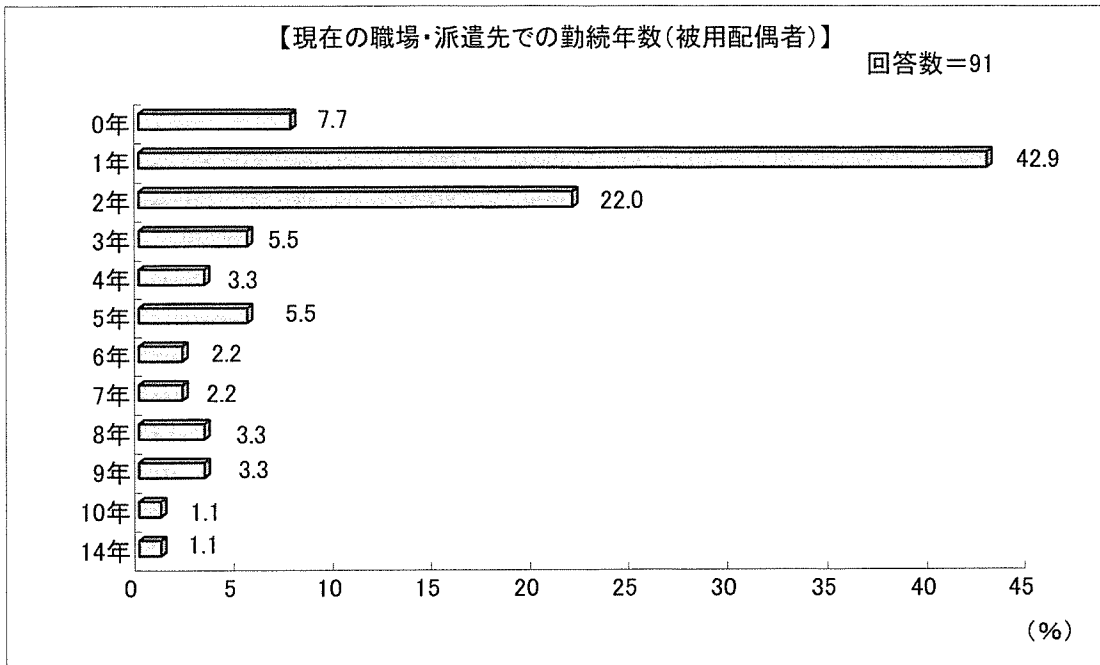
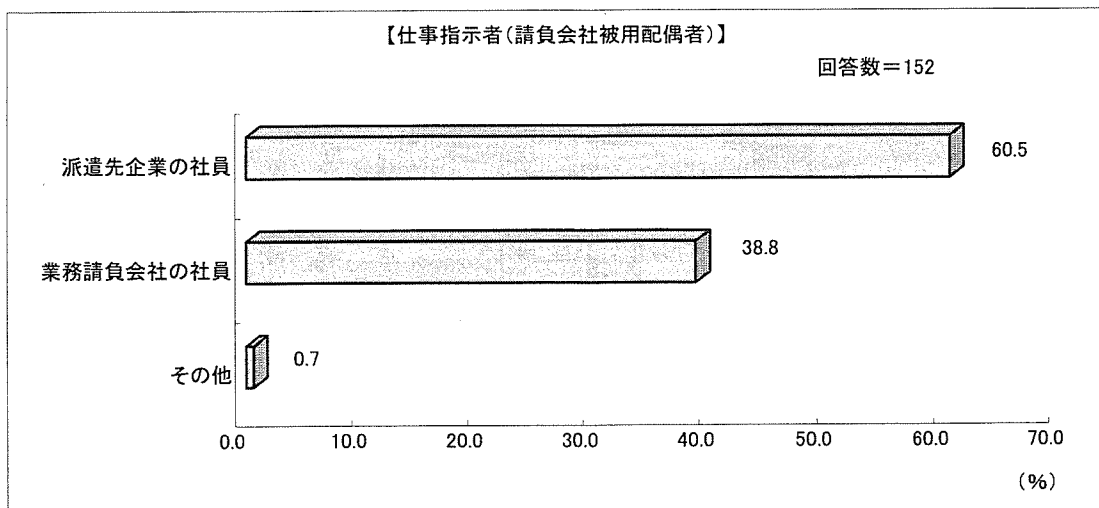


2-41. 雇用されている配偶者の現在の職場・派遣先での勤続年数（問6）



雇用されている配偶者の職場・派遣先での勤続年数については回答がやや少ないので注意を要するが、磐田市での居住年数が短い者が多いことも反映して「1年」が42.9%で最多で、「0年」も7.7%あるが、「2年」(22.0%)、「3年」(5.5%)と年数が増えるほど比率が低下する傾向がある。スムーズに低下しないのは磐田市来住時期別の回答者の分布にも左右されているためかと思われる。世帯主の場合より、「1年」と「2年」に集中している。

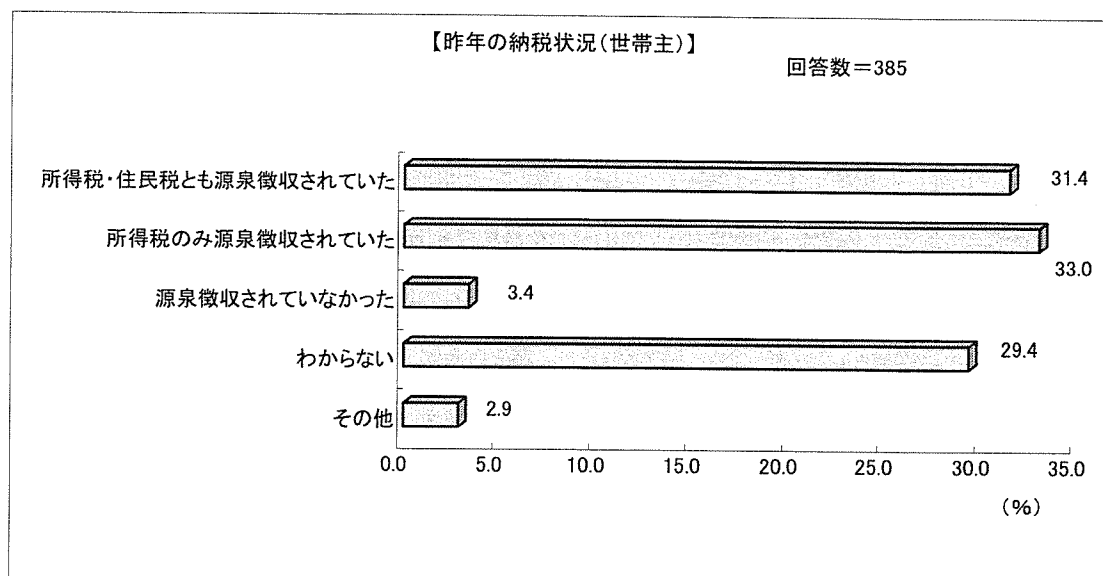
2-42. 業務請負会社に雇用されている配偶者への仕事の指示者（問6）



業務請負会社で雇用されている配偶者に仕事の指示をする者としては「派遣先企業の社員」が最多で60.5%となっており、「業務請負会社の社員」が38.8%でそれに次ぎ、「その他」が0.7%ある。

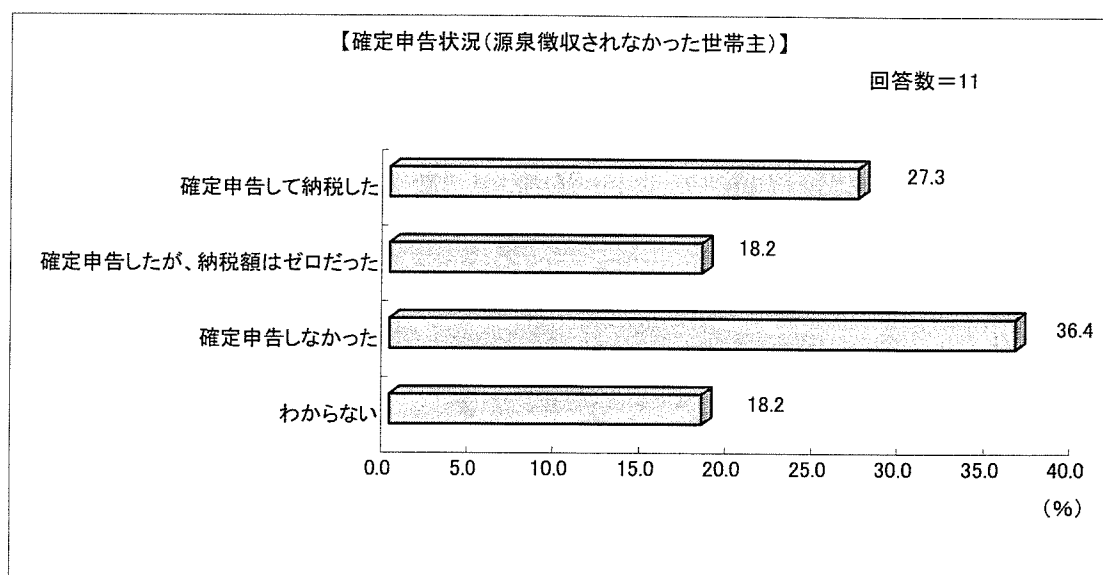
### 第3章 世帯主・配偶者の納税・送金

#### 3-1. 昨年、日本で雇用された世帯主の納税状況（問7）



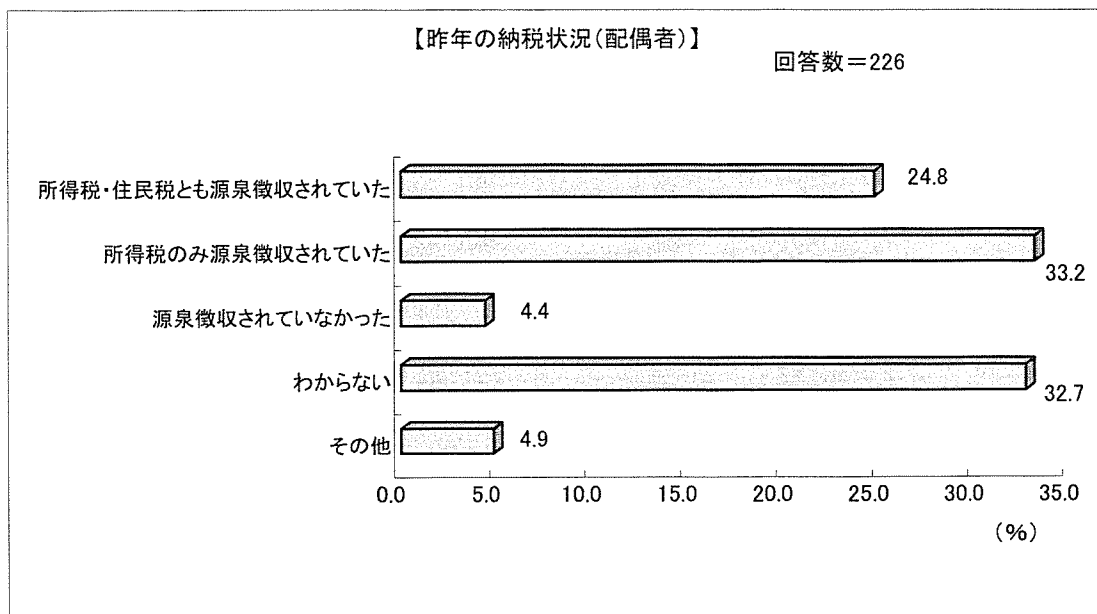
昨年、日本で雇用された世帯主の納税状況については、「所得税のみ源泉徴収されていた」（33.0%）、「所得税・住民税とも源泉徴収されていた」（31.4%）、「わからない」（29.4%）の3者が僅差で並んでいるほか、「源泉徴収されていなかった」（3.4%）、「その他」（2.9%）が若干ある。

#### 3-2. 昨年日本で雇用されたが、源泉徴収されなかった世帯主の確定申告状況（問8）



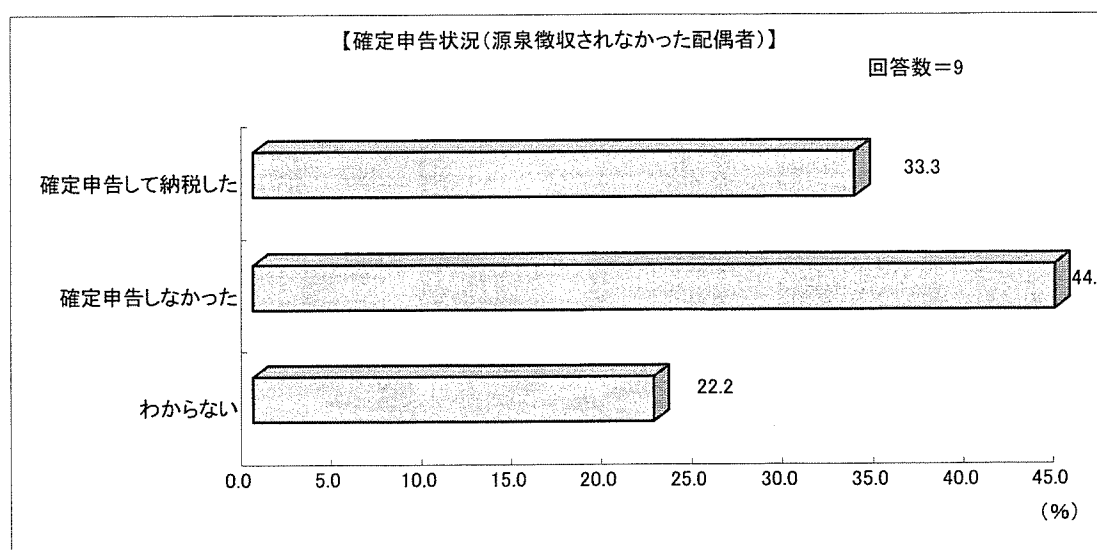
昨年、日本で雇用されたが、源泉徴収されなかった世帯主の確定申告の状況については、該当する回答者が11人であるため、どの程度、意味があるかがわからないが、「確定申告しなかった」（4人）が最大で、次に「確定申告して納税した」（3人）が多く、最後に「確定申告したが、納税額はゼロだった」と「わからない」（それぞれ2人）が並んでいる。日本の納税制度が理解されていないためか、前問と同様、「わからない」が少なくない。

### 3-3. 昨年日本で雇用された配偶者の納税状況（問7）



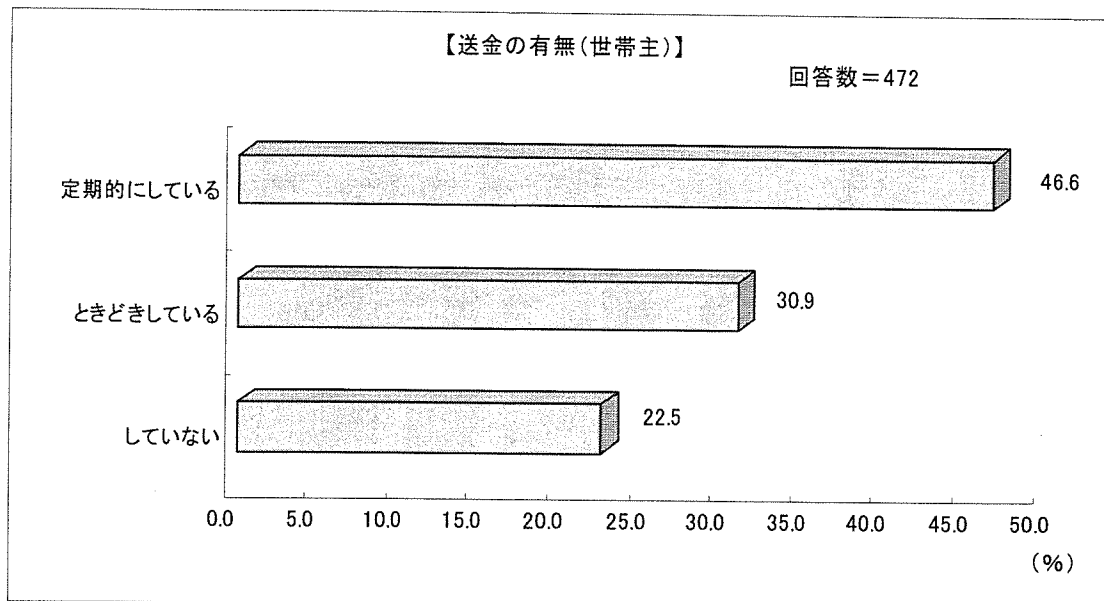
昨年、日本で雇用された配偶者の納税状況については、「所得税のみ源泉徴収されていた」（33.2%）と「わからない」（32.7%）の2者が僅差で並び、「所得税・住民税とも源泉徴収されていた」（24.6%）がやや離れて続き、「その他」（4.9%）と「源泉徴収されていなかった」（4.4%）が若干ある。

### 3-4. 昨年日本で雇用されたが、源泉徴収されなかった配偶者の確定申告状況（問8）



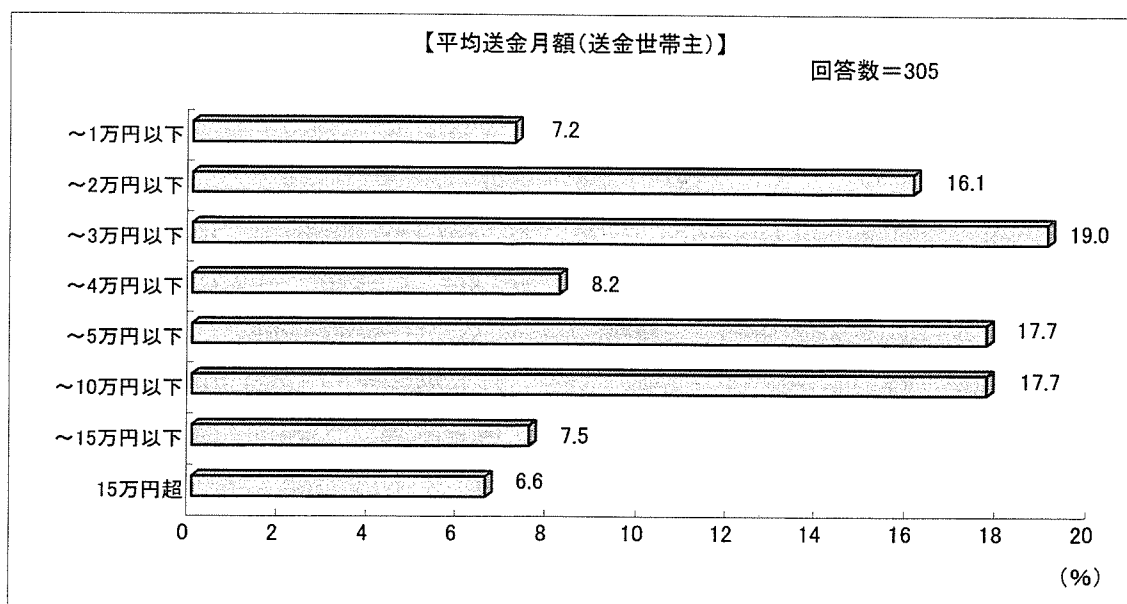
昨年、日本で雇用されたが、源泉徴収されなかった配偶者の確定申告の状況については、該当する回答者が9人であるため、どの程度、意味があるかがわからないが、「確定申告しなかった」（4人）が最多で、次に「確定申告して納税した」（3人）が多く、「わからない」（それぞれ2人）が続くが、「確定申告したが、納税額はゼロだった」は選択されなかった。世帯主の場合と同様、日本の納税制度がよく理解されていない可能性がある。

### 3-5. 世帯主の母国送金状況（問9）



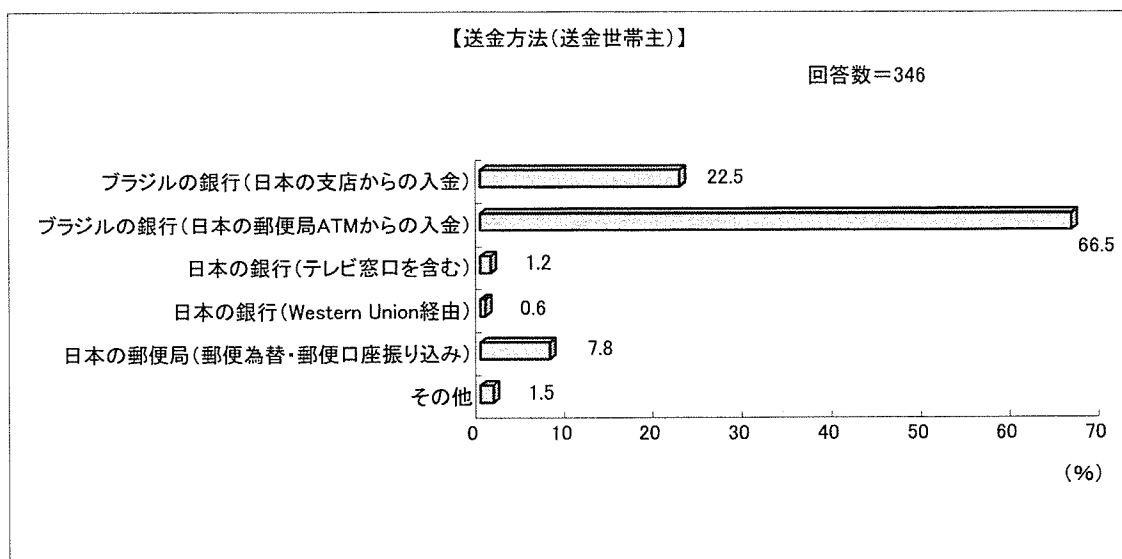
世帯主のうち、母国への送金を「定期的に行っている」者が46.6%で最多で、「ときどきしている」(30.9%)者がそれに次ぐ。送金を「していない」者は22.5%に過ぎないため、4分の3以上の世帯主が送金をしていることになる。

### 3-6. 世帯主の1カ月平均送金額（問10）



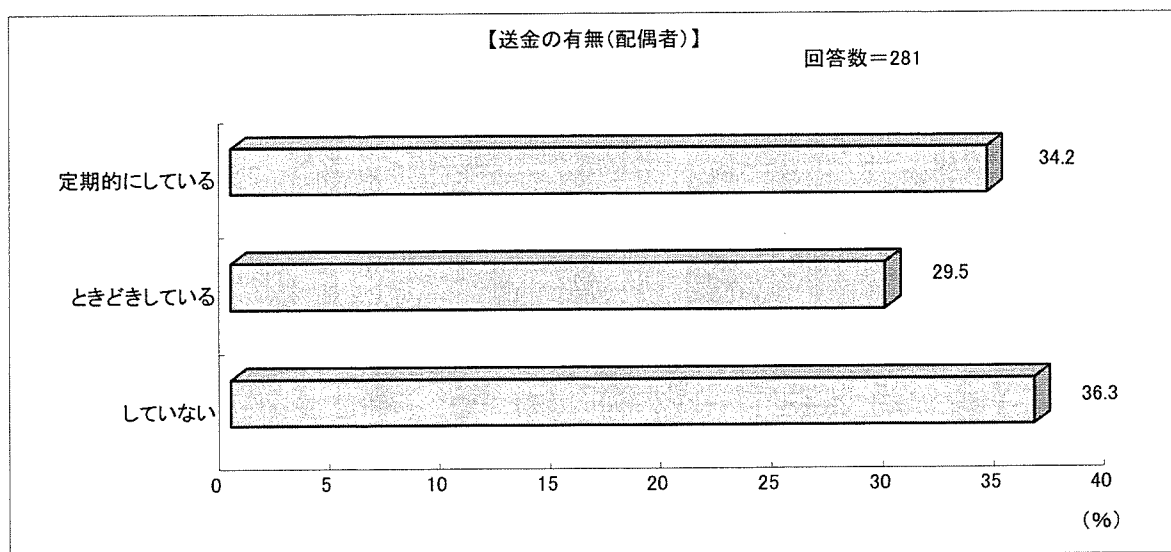
母国への送金をしている世帯主の1カ月平均送金額は2峰性分布になっており、「1~2万円以下」(16.1%)、「2~3万円以下」(19.0%)と「4~5万円以下」(17.7%)に同程度の比率で集中している。また、金額の範囲が広いので、「5~10万円以下」も17.7%で「4~5万円以下」と同じ比率で並んでいる。次いで、「1万円以下」(7.2%)、「3~4万円以下」(8.2%)、「10~15万円」(7.5%)、「15万円超」(6.6%)も同程度の比率で並んでいる。

### 3-7. 世帯主の送金方法（問 10）



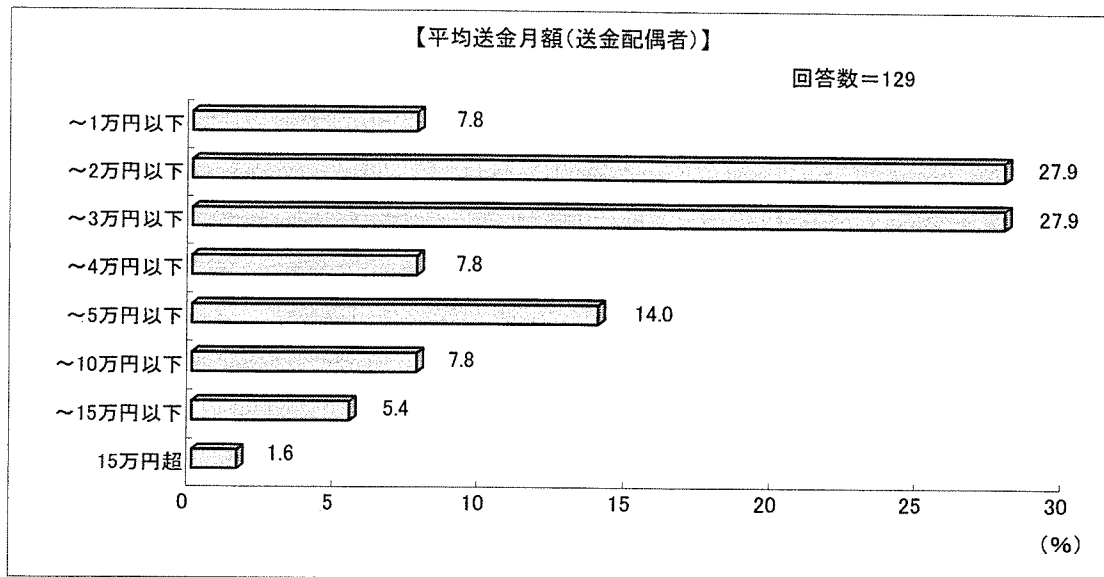
母国への送金をしている世帯主の送金方法は、「ブラジルの銀行（日本の郵便局の ATM から入金）」が 66.5% を占めており、やや離れて「ブラジルの銀行（日本の支店からの入金）」（22.5%）がそれに次ぎ、さらに離れて「日本の郵便局（郵便為替・郵便口座振り込み）」（7.8%）が続き、それ以外の送金方法はほとんど用いられていない。数が多い郵便局とその ATM の利便性が明らかになっている。

### 3-8. 配偶者の母国送金状況（問 9）



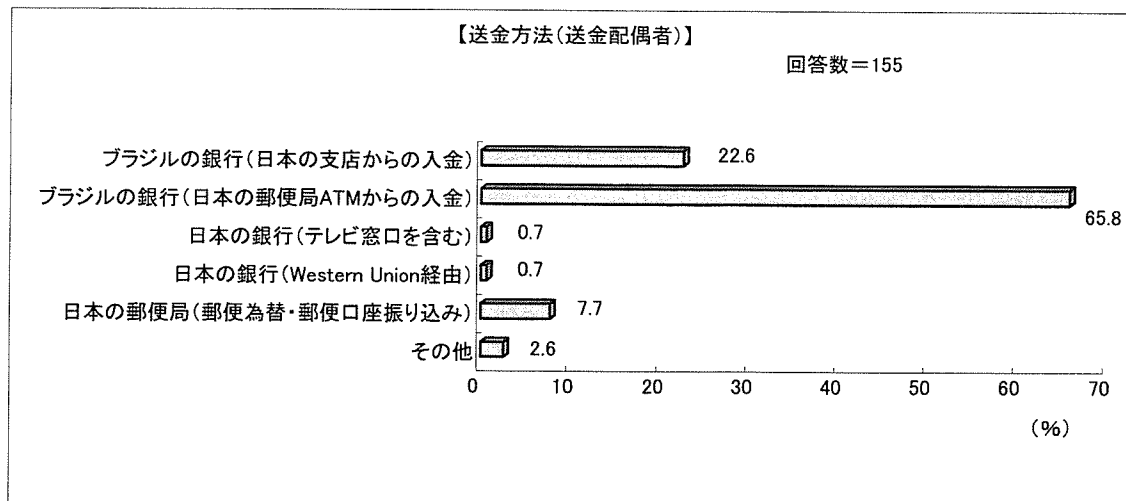
配偶者では世帯主の場合と異なり、母国への送金を「していない」者が 36.3% を占めて最多となっており、「定期的に行っている」者が 34.2% でそれに次ぎ、「ときどきしている」者が 29.5% で 3 番目になっている。配偶者が送金をしていなくても世帯主がしている場合が少なくないと思われるので、かなりの世帯が送金をしているはずである。

### 3-9. 配偶者の1カ月平均送金額（問10）



母国へ送金をしている配偶者の1カ月平均送金額は世帯主の場合と同様に2峰性分布となっており、「1～2万円以下」(27.9%)、「2～3万円以下」(27.9%)が同じ比率で最大となっており、少し離れて「4～5万円以下」(14.0%)がそれに次いでいる。また、続いて「1万円以下」、「3～4万円以下」、「5～10万円以下」がいずれも7.8%で並んでいる。「10～15万円」(5.4%)、「15万円超」(1.6%)が続くが、全体として世帯主よりも低めである。

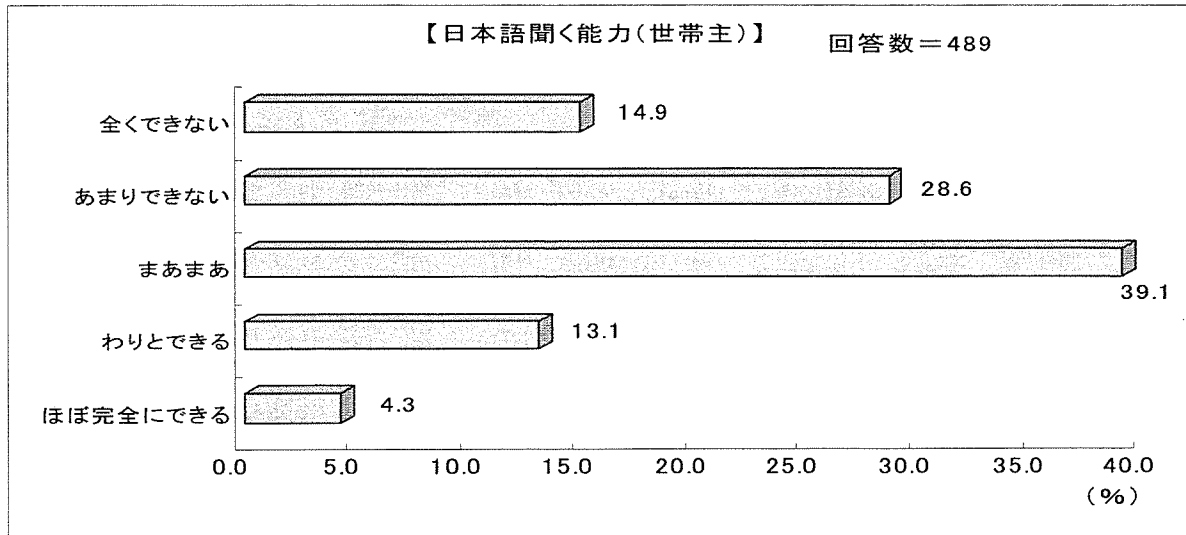
### 3-10. 配偶者の送金方法（問10）



母国へ送金をしている配偶者の送金方法は、「ブラジルの銀行（日本の郵便局のATMから入金）」が65.8%を占め、やや離れて「ブラジルの銀行（日本の支店からの入金）」(22.6%)、さらに離れて「日本の郵便局（郵便為替・郵便口座振り込み）」(7.7%)が続く、それ以外の送金方法はあまり用いられていない。なお、「ブラジルの銀行（日本の郵便局のATMから入金）」と他の主要な2方法のそれぞれとの複数回答が計2件あったが、他の2方法に振り分けた。

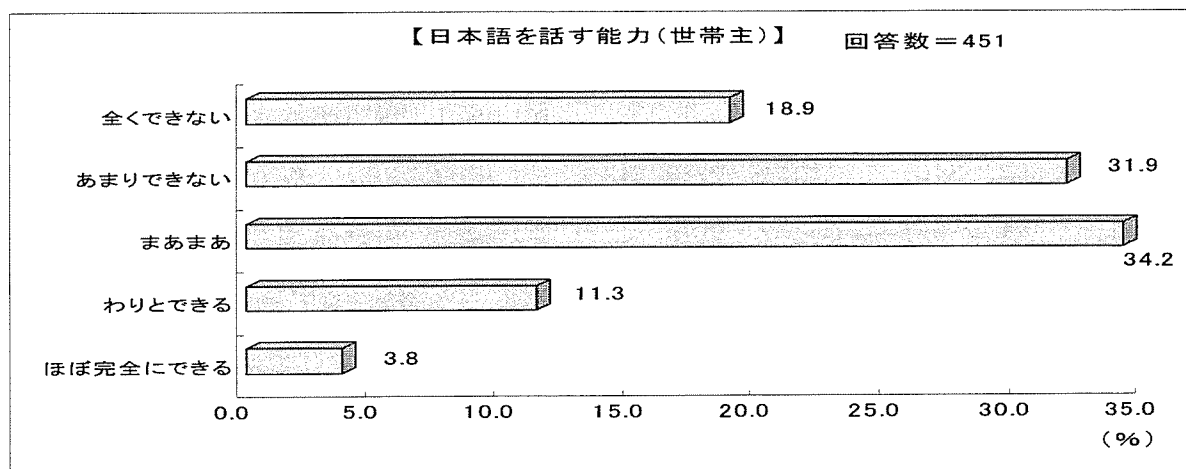
## 第4章 世帯主・配偶者の日本語能力

### 4-1. 日本語・聞く能力（世帯主）（問11）



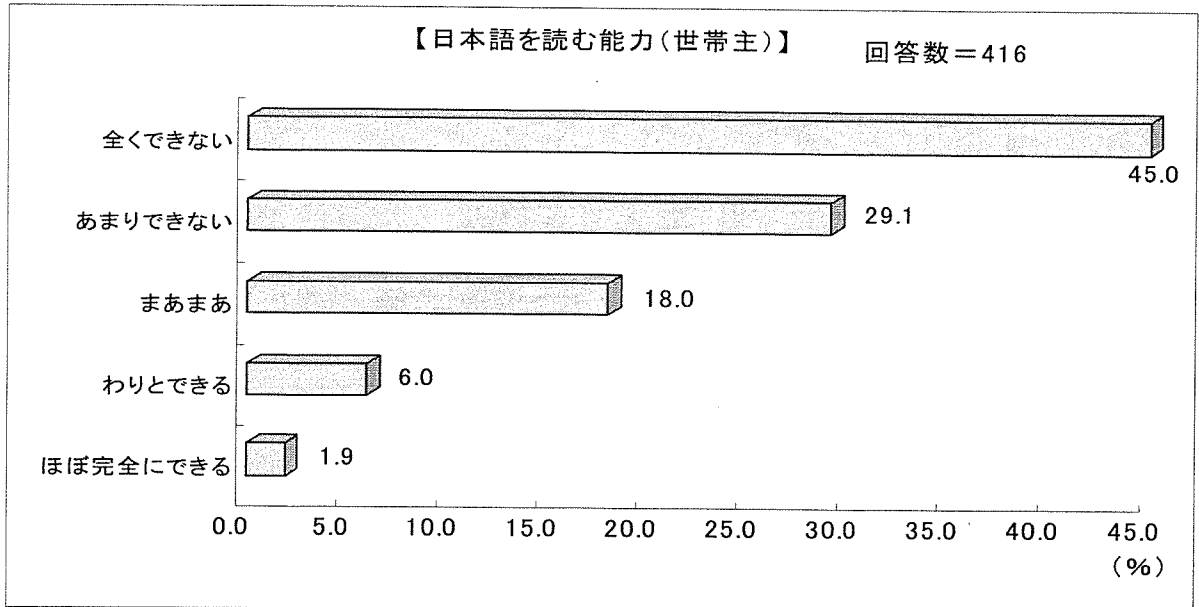
世帯主の日本語を聞く能力は、「まあまあ」が39.1%と最も高く、続いて「あまりできない」(28.6%)、「全くできない」(14.9%)となっている。「あまりできない」と「全くできない」を合わせると43.5%になるが、滞在年数が比較的短い者が多いためかもしれない。「わりとできる」(13.1%)と「ほぼ完全にできる」(4.3%)を合わせると17%程度であり、日本語を聞く能力が弱い世帯主の方が多い。

### 4-2. 日本語・話す能力（世帯主）（問11）



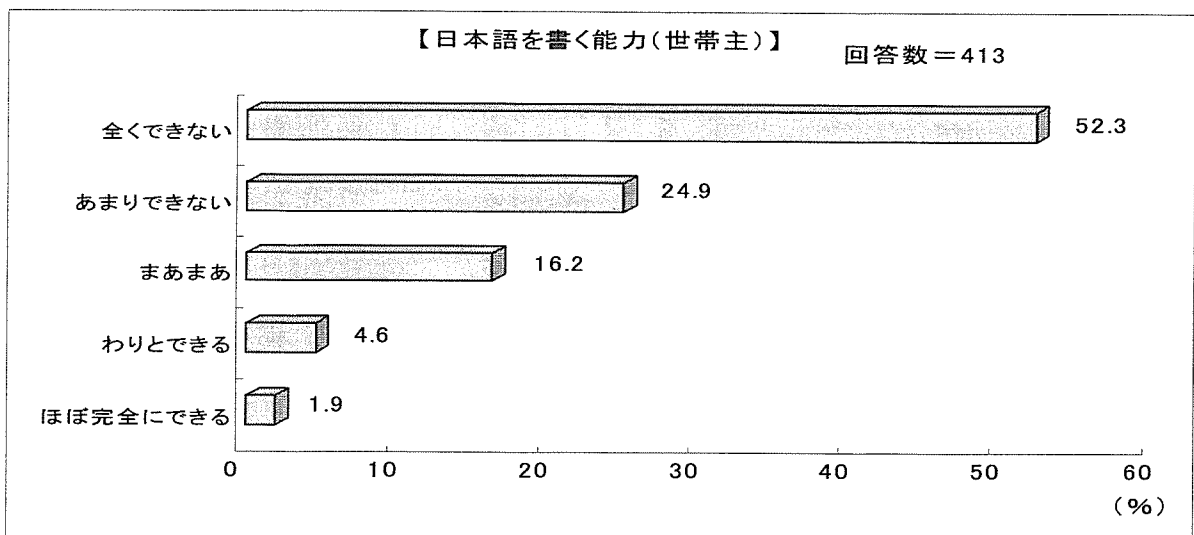
日本語を話す能力となると、聞く能力よりも「できない」者の割合が高くなる。最も多いのは「まあまあ」の34.2%であるが、「まあまあ」と答えた者の割合は、日本語を聞く能力の場合より低下している。日本語を話す能力は、「全くできない」(18.9%)と「あまりできない」(31.9%)を合わせれば、半数を超える。「わりとできる」(11.3%)、「ほぼ完全にできる」(3.8%)を合わせれば、15.1%であり、話す能力の困難さが伺われる。

#### 4-3. 日本語・読む能力（世帯主）（問 11）



日本語能力の中でも、読む能力となると「まあまあ」の割合が18.0%とぐっと下がる。分布をみると、高い順から「全くできない」(45.0%)、「あまりできない」(29.1%)、「まあまあ」(18.0%)、「わりとできる」(6.0%)、「ほぼ完全にできる」(1.9%)となっている。日本語を読むことが、「わりとできる」(6.0%)、「ほぼ完全にできる」のは、合わせて7.9%程度である。

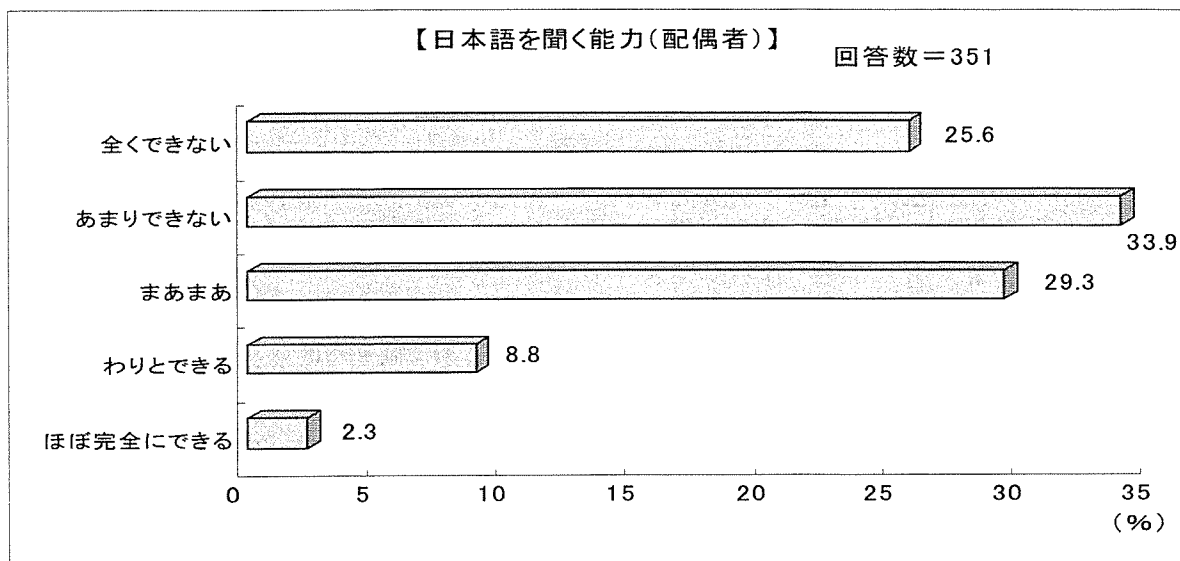
#### 4-4. 日本語・書く能力（世帯主）（問 11）



外国語を書く能力は、語学力の中でも最も高度な能力を要するであろう。この分布も上記の日本語を読む能力同様、多い順から「全くできない」(52.3%)、「あまりできない」(24.9%)、「まあまあ」(16.2%)、「わりとできる」(4.6%)、「ほぼ完全にできる」(1.9%)と、全くできない者の多さが目につく。「全くできない」と「あまりできない」を足すと、約77%にも達する。

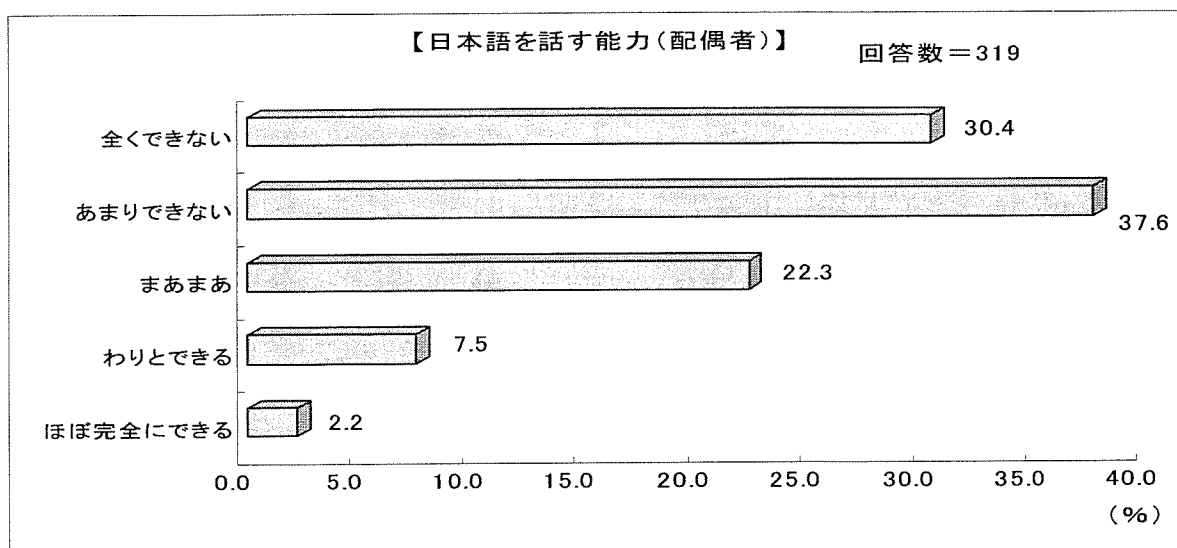


4-5. 日本語・聞く能力（配偶者）（問 11）



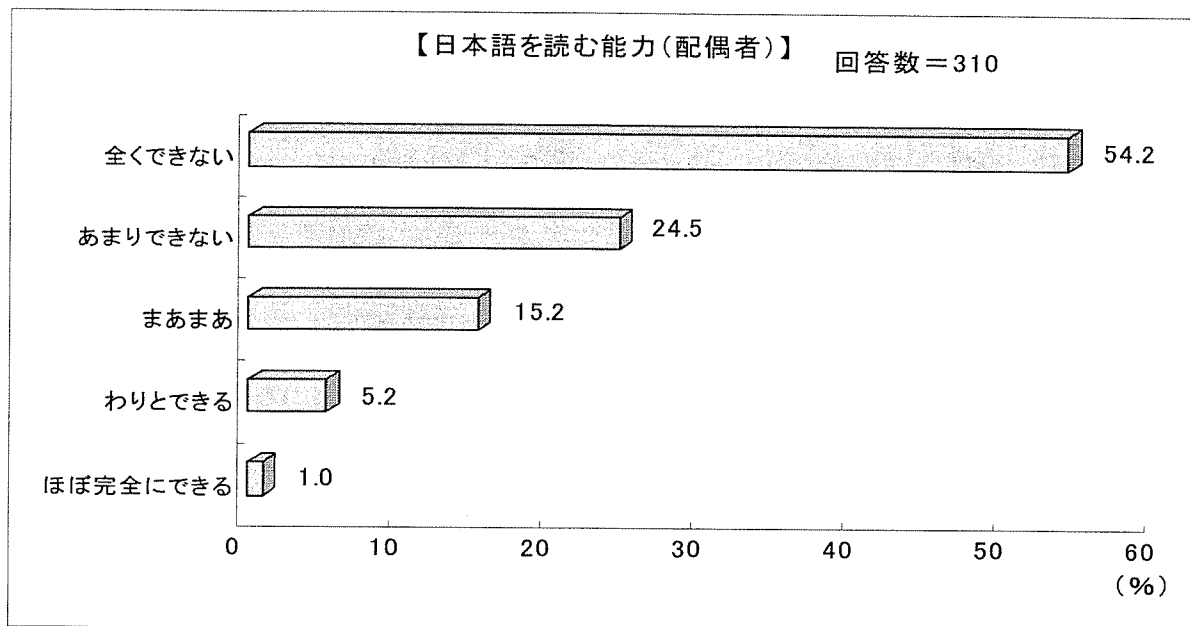
配偶者の日本語を聞く能力は、世帯主のそれと比べると、日本語を聞く能力から既に「あまりできない」(3.9%)と回答する者が「まあまあ」(29.3%)と回答する者を上回っている。世帯主の場合、「全くできない」と「あまりできない」を合わせて43.5%であったが、配偶者では両者を合わせると59.6%にも達する。「わりとできる」(8.8%)と「ほぼ完全にできる」(2.3%)は合わせて11.1%であり、配偶者の方が日本語を聞く能力が比較的低い。配偶者には、日系人以外のケースも含まれているものと思われる。

4-6. 日本語・話す能力（配偶者）（問 11）



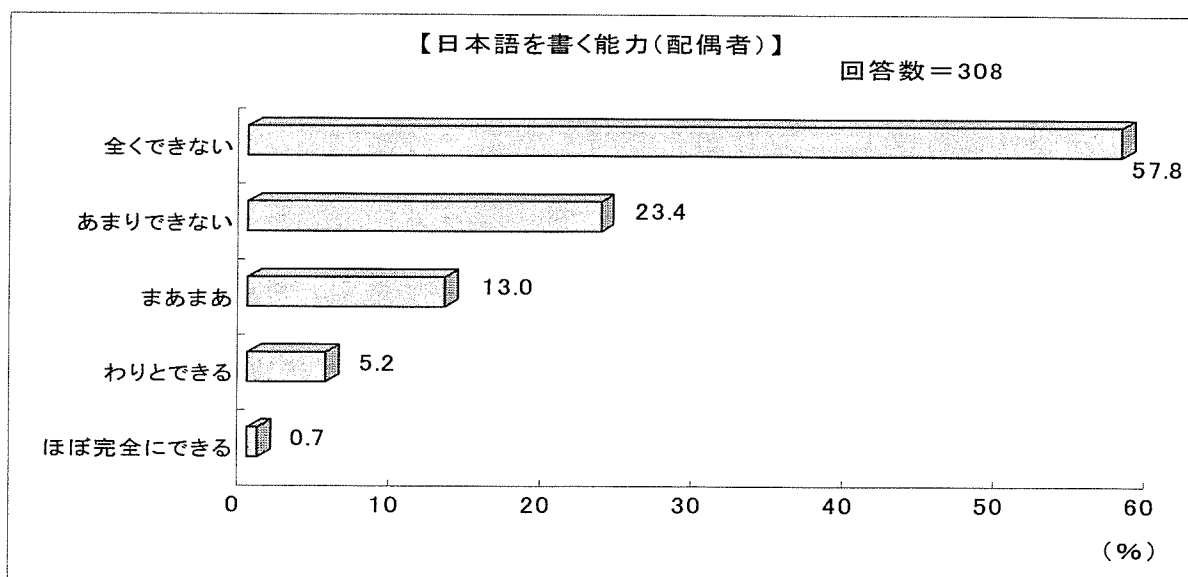
日本語を話す能力に関しても世帯主の場合とは異なり、「まあまあ」が22.3%とぐっと低くなる。そして「全くできない」(30.4%)と「あまりできない」(37.6%)と回答する者の割合があわせて68.0%に達する。日本語を話す能力に関しても、配偶者の方が世帯主よりも困難が大きい傾向が見られる。

#### 4-7. 日本語・読む能力（配偶者）（問 11）



日本語を読む能力は世帯主の分布と類似しているが、配偶者の場合、より「全くできない」（54.2%）の割合が高いのが特徴である。「全くできない」が一番多く、しかも半数を超えている（54.2%）。これに「あまりできない」（24.5%）を合わせると、8割弱の配偶者が、日本語を読む能力に問題を抱えていることがわかる。

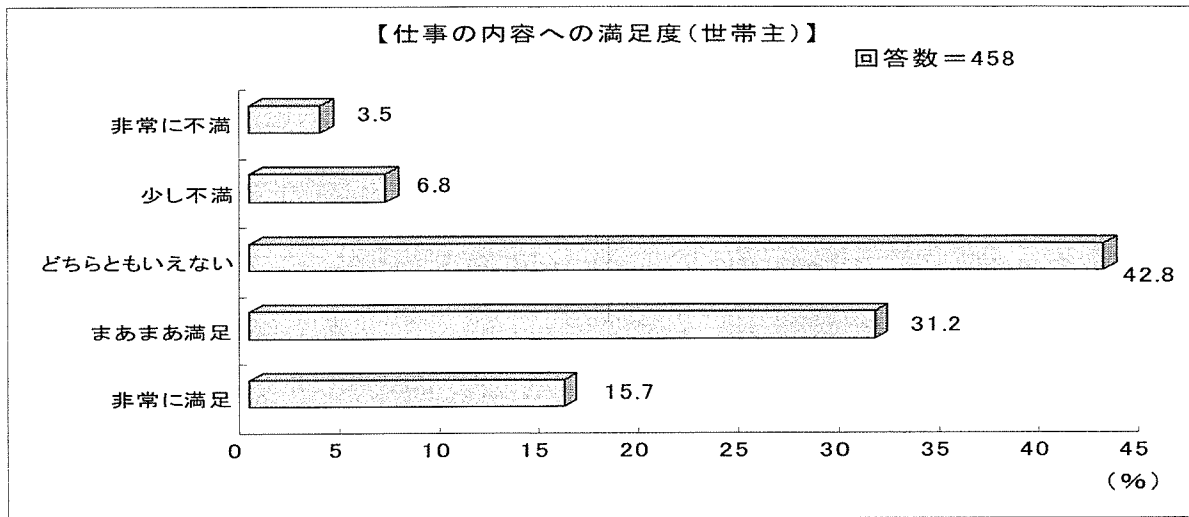
#### 4-8. 日本語・書く能力（配偶者）（問 11）



日本語を書く能力も、読む能力同様「全くできない」（57.8%）と回答する者の割合が高い。8割以上の配偶者が「全くできない」（57.8%）、「あまりできない」（23.4%）の区分に入る。世帯主・配偶者共に日本語能力、特に読み書き能力は概して弱い。来日してから日が浅い家族が多いことや、配偶者に日系人以外の者が増えているためであろうか。

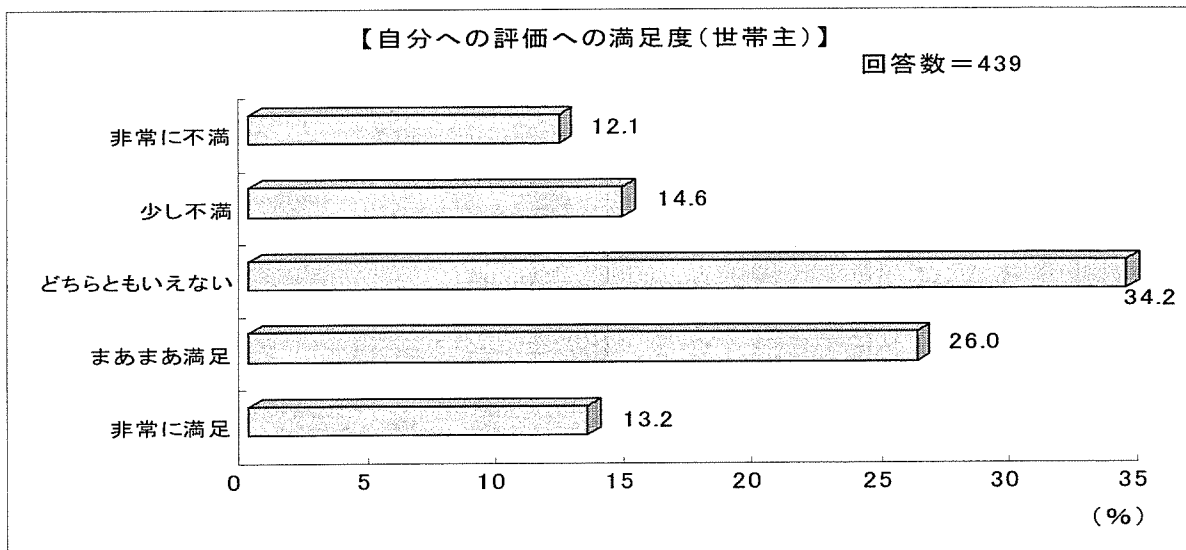
## 第5章 世帯主・配偶者の仕事・生活に対する満足度

### 5-1. 仕事の内容への満足度（世帯主）（問12）



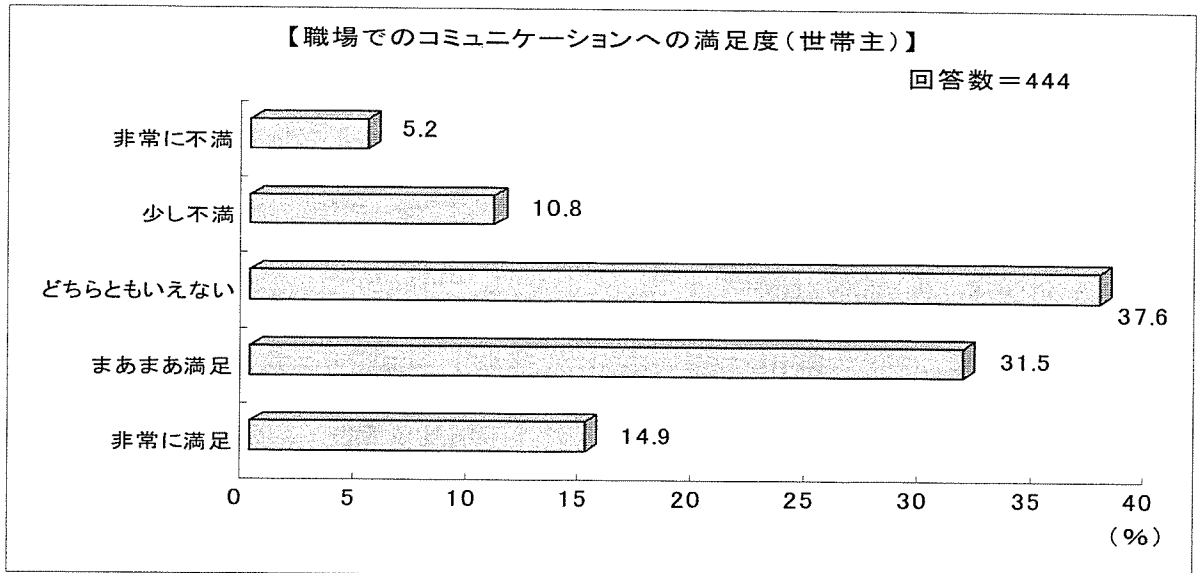
世帯主の仕事の内容への満足度は、「どちらともいえない」が最も多く、42.8%を占めた。「まあまあ満足」（31.2%）、「非常に満足」（15.7%）を合わせると46.9%になるので、比較的満足している世帯主と、「どちらともいえない」世帯主の2つが主要なグループである。「不満がある」世帯主は、「少し不満」（6.8%）、「非常に不満」（3.5%）を合わせて約1割であった。

### 5-2. 自分への評価（世帯主）（問12）



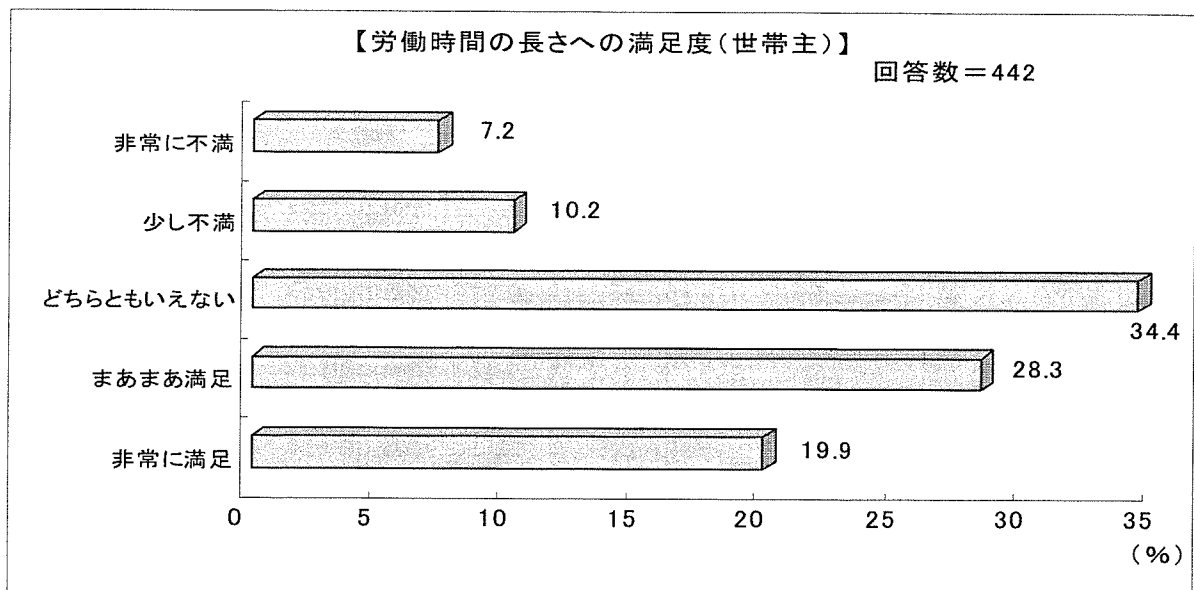
職場での自分の評価に対しても、最も多い回答は「どちらともいえない」の34.2%であった。不満のある者と満足している者では、満足している者の割合の方が高く、「まあまあ満足」（26.0%）と「非常に満足」（13.2%）で39.2%、「非常に不満」（12.1%）と「少し不満」（14.6%）で26.7%を占めた。ただ仕事の内容の満足度と比べると、自分に対する評価には不満を持つ者の割合が高い。

5-3. 職場でのコミュニケーション（世帯主）（問 12）



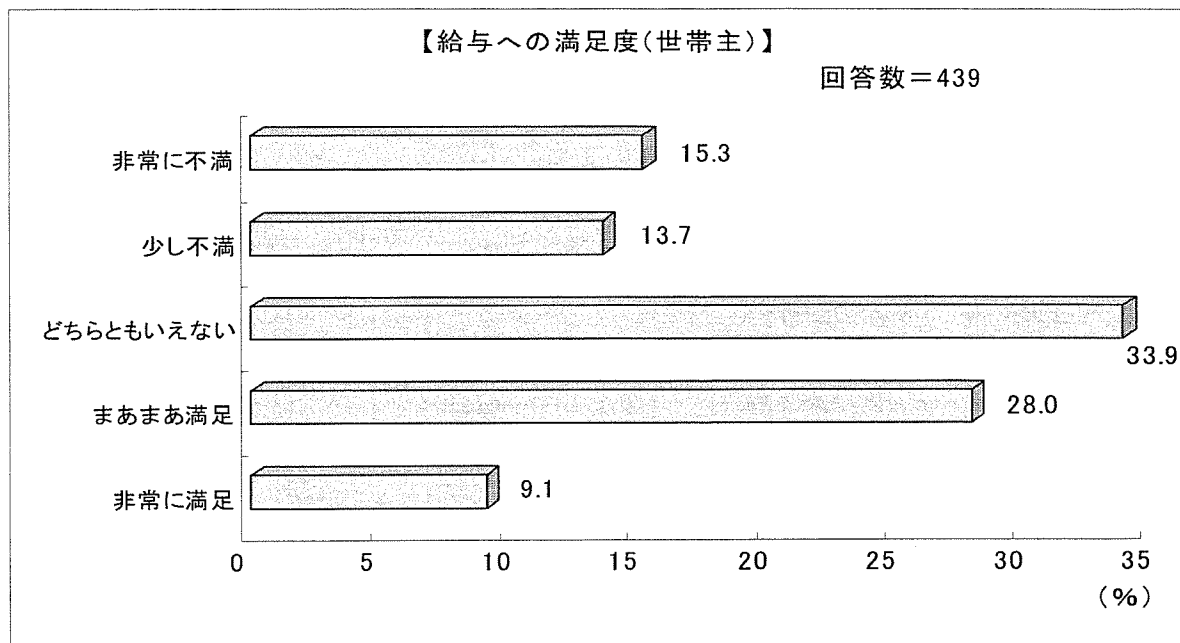
職場でのコミュニケーションに関しては、「どちらともいえない」（37.6%）を除けば、満足している者の割合が高く、「まあまあ満足」（31.5%）と「非常に満足」（14.9%）を合わせて46.4%の者が、満足と回答している。一方、不満を持っている者は、「非常に不満」（5.2%）と「少し不満」（10.8%）を合わせて16.0%に達している。

5-4. 労働時間の長さ（世帯主）（問 12）



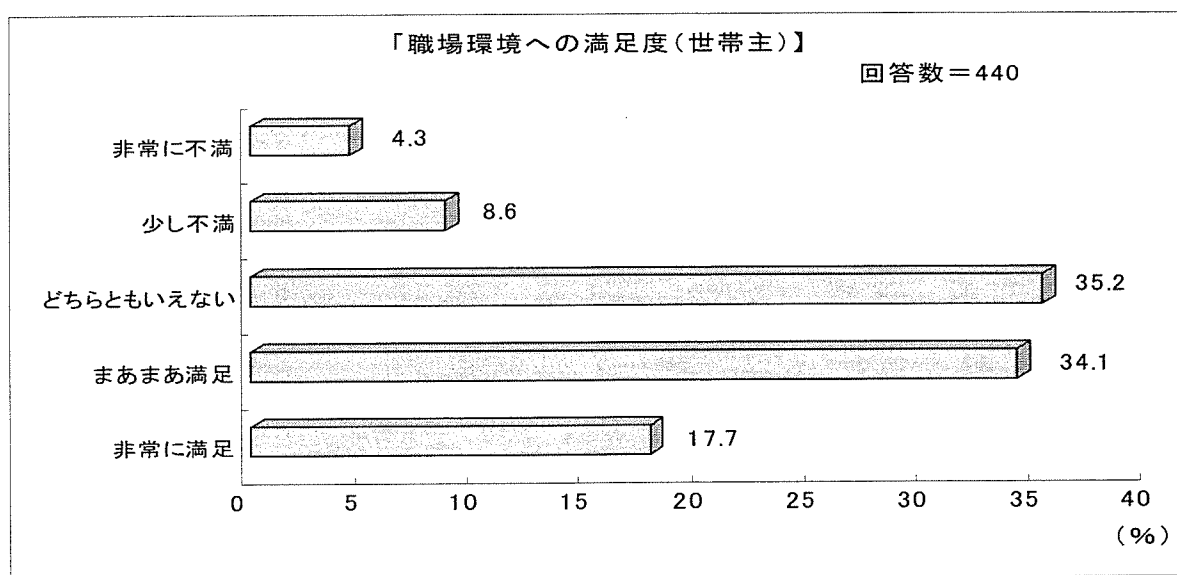
労働時間の長さに関しては、「どちらともいえない」（34.4%）を除くと、満足を表明する者が最も高い割合を占めている。「まあまあ満足」（28.3%）と「非常に満足」（19.9%）を合わせて48.2%となり、他の項目よりも若干、満足している者の割合が高い。「少し不満」（10.2%）、「非常に不満」（7.2%）は合わせて17.4%であり、職場に関する項目の中では、労働時間の長さは満足度が高い項目と言えよう。

5-5. 給与（世帯主）（問 12）



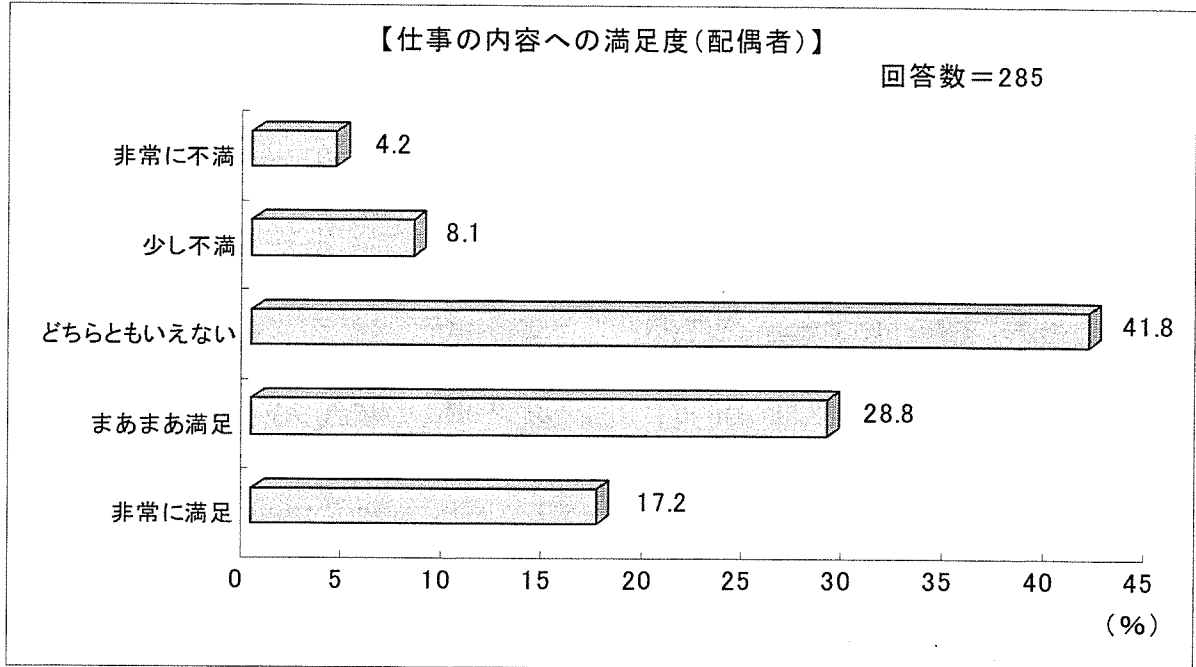
給与に関しては、他の仕事の満足度に関する事項に比べて不満を持つ者の割合が高いのが特徴である。「非常に不満」(15.3%)と「少し不満」(13.7%)を合わせて29.0%に達している。この割合は、自分への評価に対する不満を持つ者の割合を上回る。満足している者は、「まあまあ満足」(28.0%)と「非常に満足」(9.1%)を合わせて37.1%にしか達していない。

5-6. 職場環境（世帯主）（問 12）



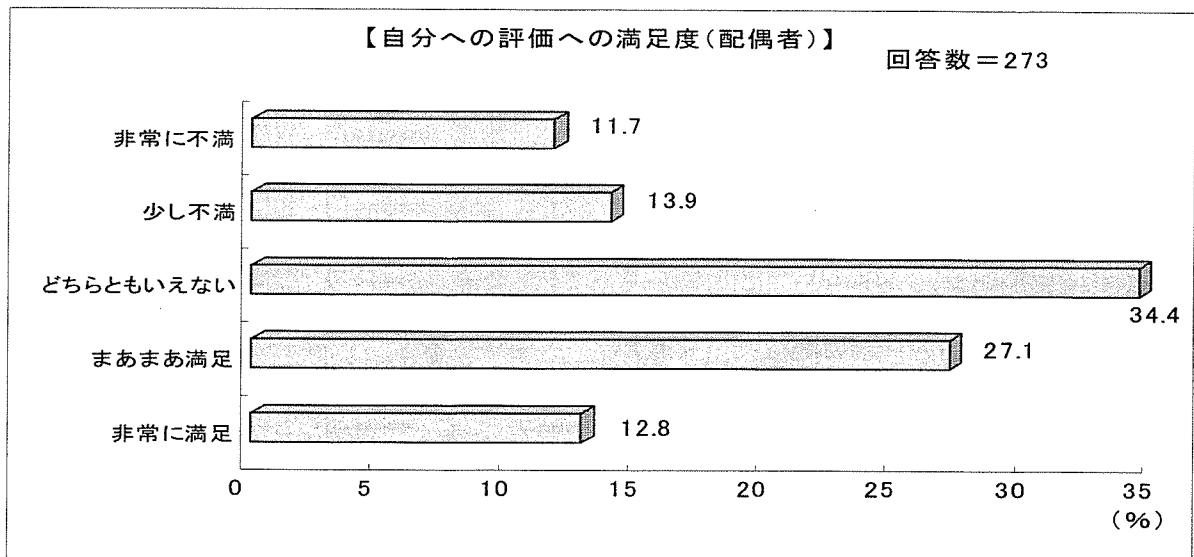
職場環境に関しては、「非常に満足」が17.7%と高く、「まあまあ満足」(34.1%)と合わせると半数を超える。不満と回答したのは、「非常に不満」(4.3%)と「少し不満」(8.6%)を合わせた12.9%であり、職場環境は比較的満足度が高いと思われる。

5-7. 仕事の内容（配偶者）（問 12）



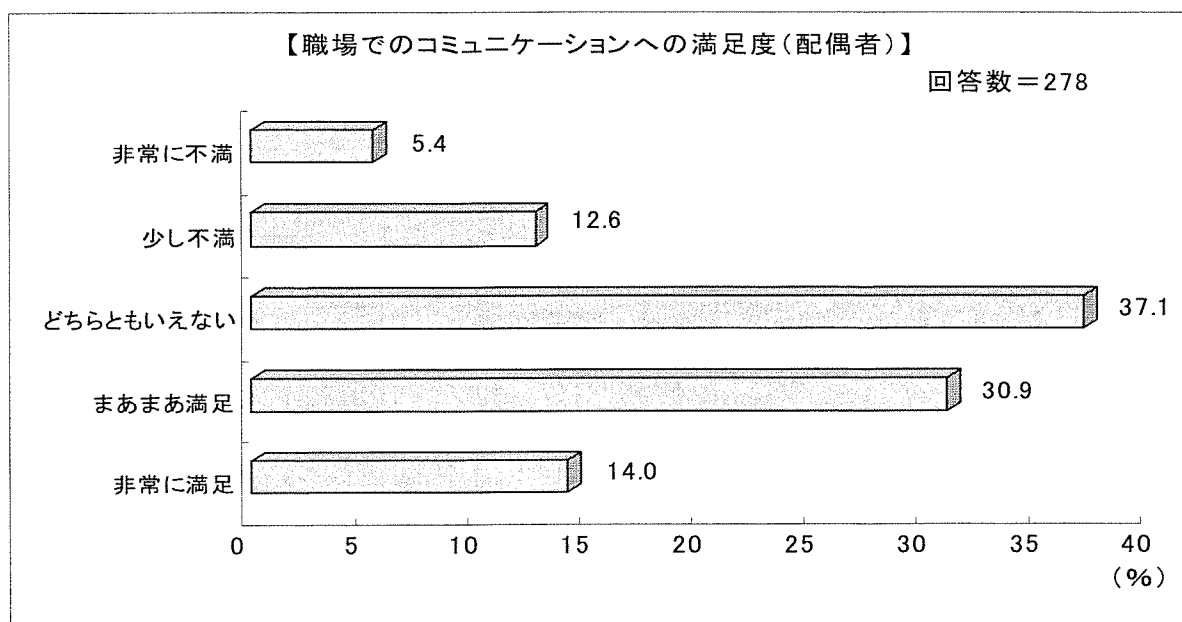
配偶者の場合も「どちらともいえない」が最も大きな割合を占め、これだけで41.8%に達している。「まあまあ満足」(28.8%)と「非常に満足」(17.2%)を合わせると46.0%になり、世帯主と比較すると満足している層が若干低い。不満を表明している配偶者は、「少し不満」の8.1%、「非常に不満」の4.2%で、合わせて12.3%である。

5-8. 自分への評価（配偶者）（問 12）



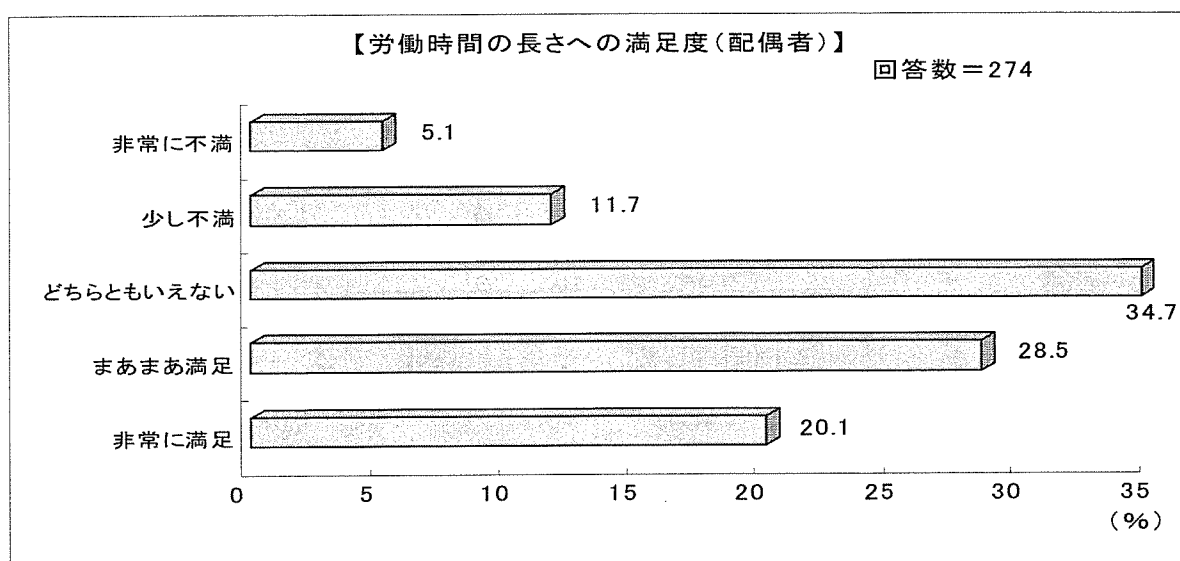
自分に対する評価への満足度は、世帯主の分布と同傾向を示している。「まあまあ満足」(27.1%)と「非常に満足」(12.8%)を合わせて約4割が自分に対する評価に満足していると回答している。一方、34.4%の者が、「どちらともいえない」と回答しており、また、「非常に不満」(11.7%)と「少し不満」(13.9%)が合わせて25.6%を占めている。

5-9. 職場でのコミュニケーション（配偶者）（問 12）



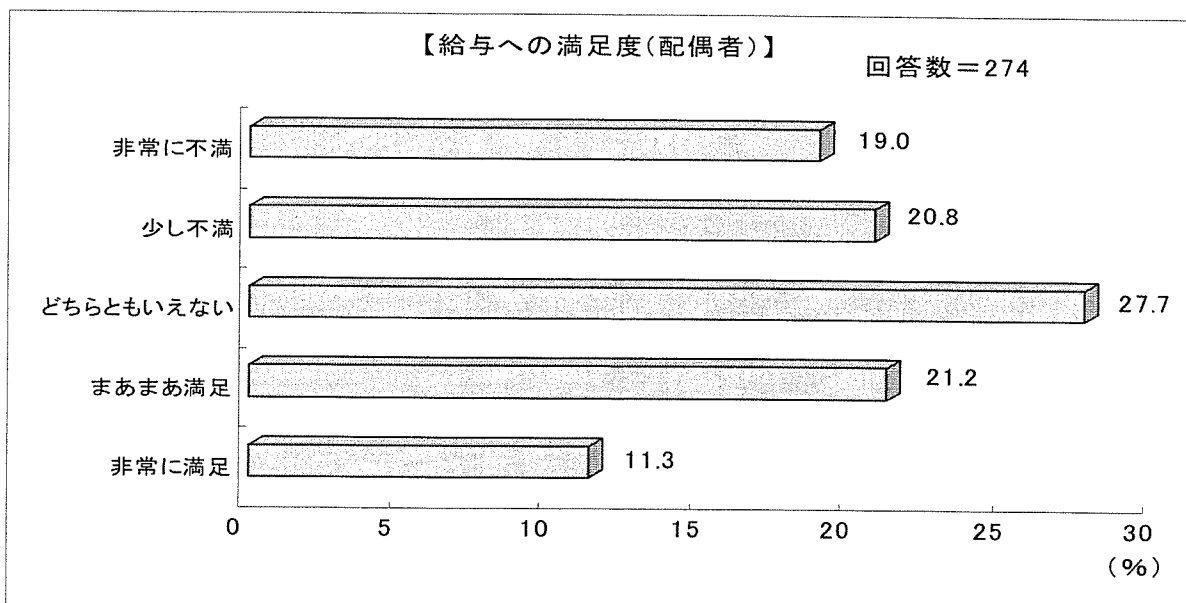
職場でのコミュニケーションは、「どちらともいえない」の 37.1%を除けば、比較的満足度は高い。「まあまあ満足」(30.9%)と「非常に満足」(14.0%)を合わせて 44.9%を占める。一方、「非常に不満」(5.4%)、「少し不満」(12.6%)は合わせて 18.0%になる。この項目でも、配偶者の方が世帯主よりも不満を持つ者の割合が高い。

5-10. 労働時間の長さ（配偶者）（問 12）



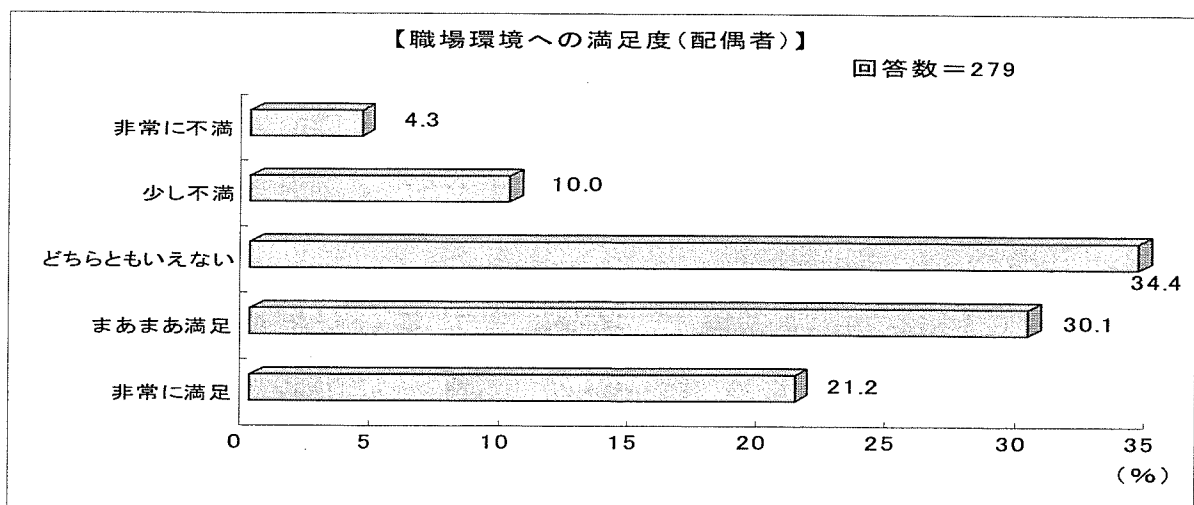
配偶者の労働時間の長さに関する満足度の分布は、他の項目同様、世帯主の分布と類似しているが、労働時間の長さに関しては、世帯主よりも「非常に不満」(5.1%)と回答する者の割合が若干低い。「まあまあ満足」(28.5%)と「非常に満足」(20.1%)を合わせて 48.6%を占める。「少し不満」(11.7%)、「非常に不満」(5.1%)は合わせて 16.8%であり、労働時間の長さに関しては、配偶者の満足度の方が世帯主の満足度よりも高い。

### 5-11. 給与（配偶者）（問 12）



給与の満足度に関しては、配偶者の方が世帯主よりも不満度が高い。「非常に不満」が 19.0%、「少し不満」が 20.8%を占めており、両者を併せると約 4割に達する。また、「どちらともいえない」が 27.7%と他の項目や世帯主と比べても低い。満足している配偶者は、「まあまあ満足」(21.2%)と「非常に満足」(11.3%)を合わせて約 3分の 1を占める。給与に関する満足度の低さは、同じ仕事内容でも女性であるということ賃金が高い職場が多いからではないだろうか。

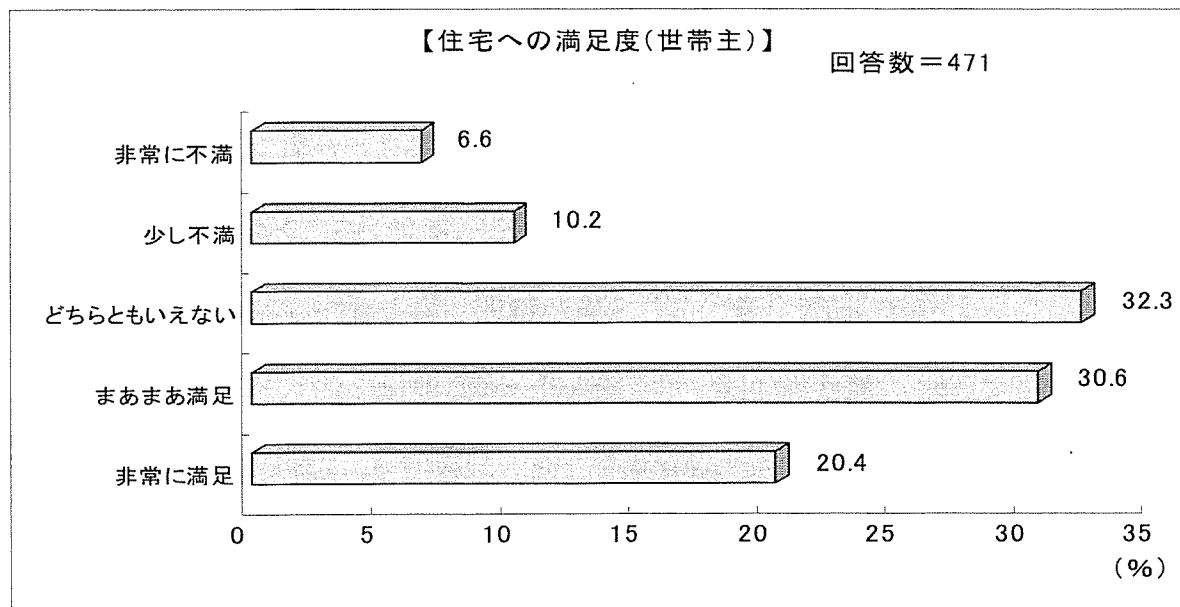
### 5-12. 職場環境（配偶者）（問 12）



給与とは反対に、職場環境に対する満足度は比較的高い。「どちらともいえない」(34.4%)を除くと、「まあまあ満足」が 30.1%、「非常に満足」が 21.2%で、合わせて半数を超える。不満のある者は、「少し不満」(10.0%)と「非常に不満」(4.3%)を合わせて、約 15%である。労働時間の長さを除くと、一般に配偶者の方が世帯主よりも不満を持つ者の割合が若干高い傾向がみられる。特に顕著なのは、給与であった。

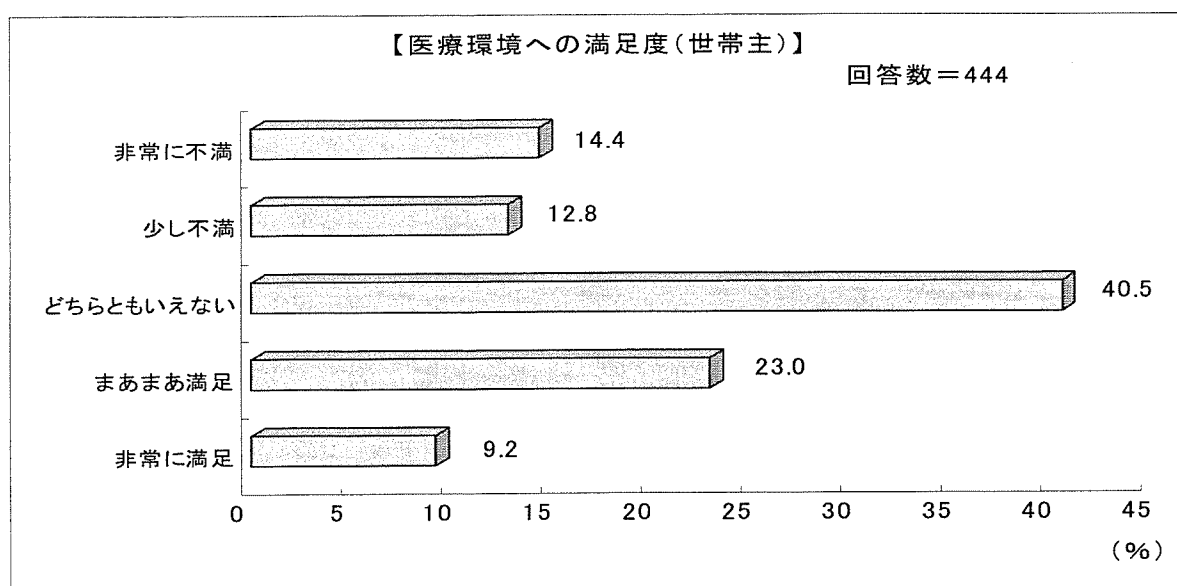


5-13. 住宅（世帯主）（問 13）



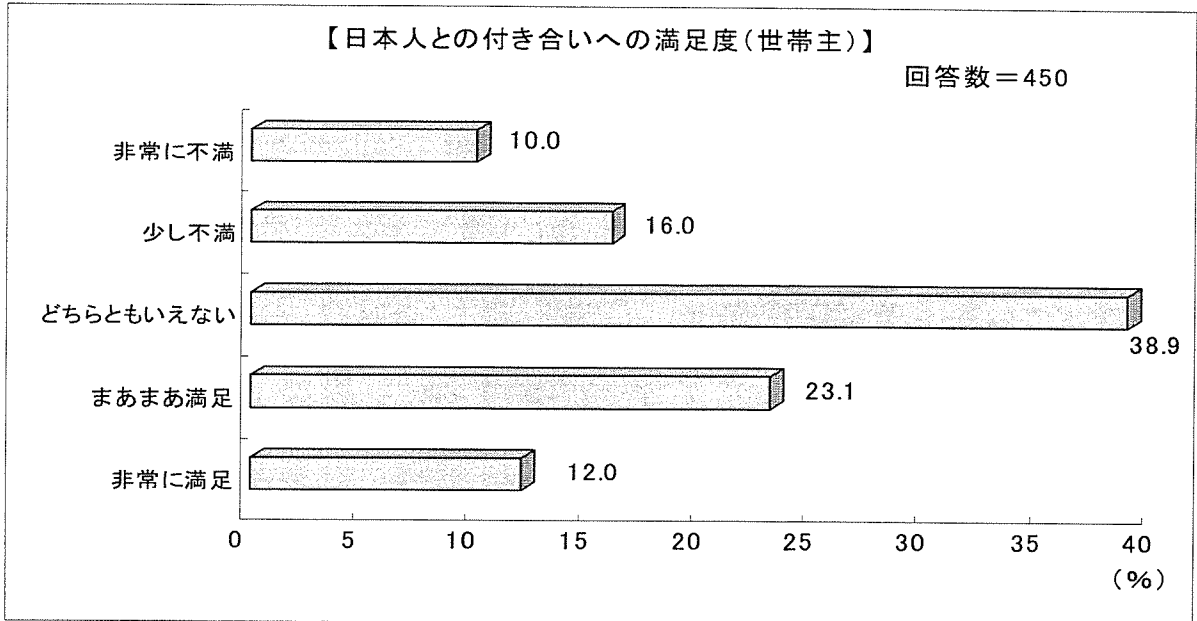
世帯主の住宅に対する満足度は、「どちらともいえない」（32.3%）を除けば、比較的高い。「まあまあ満足」（30.6%）に続いて「非常に満足」（20.4%）の順番となっており、両者を合わせれば半数を超える。その反面、不満を持つ者は「少し不満」が10.2%、「非常に不満」が6.6%で、合わせて16.8%である。

5-14. 医療環境（世帯主）（問 13）



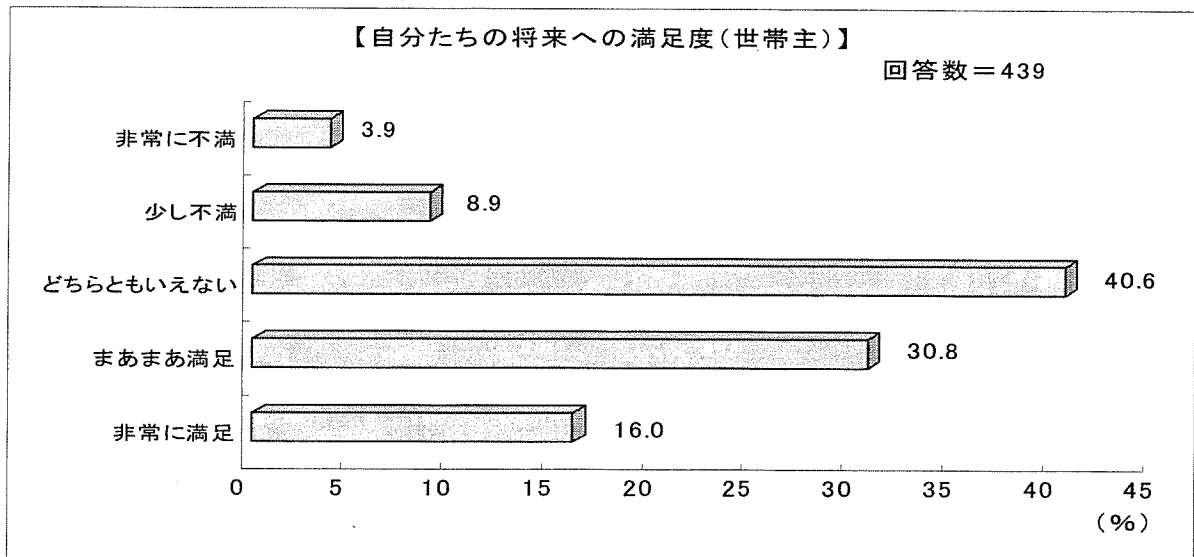
医療環境に関しては、「どちらともいえない」が40.5%と非常に高い割合を占めている。続いて「まあまあ満足」の23.0%、「非常に不満」の14.4%の順番となっている。満足を表明した者は、合わせて32.2%、不満を表明した者は、合わせて27.2%となっており、満足を示した者の方が少し多い。しかし、問13の中で聞いた項目の中では、医療環境が最も満足度が低い。

5-15. 日本人との付き合い（世帯主）（問 13）



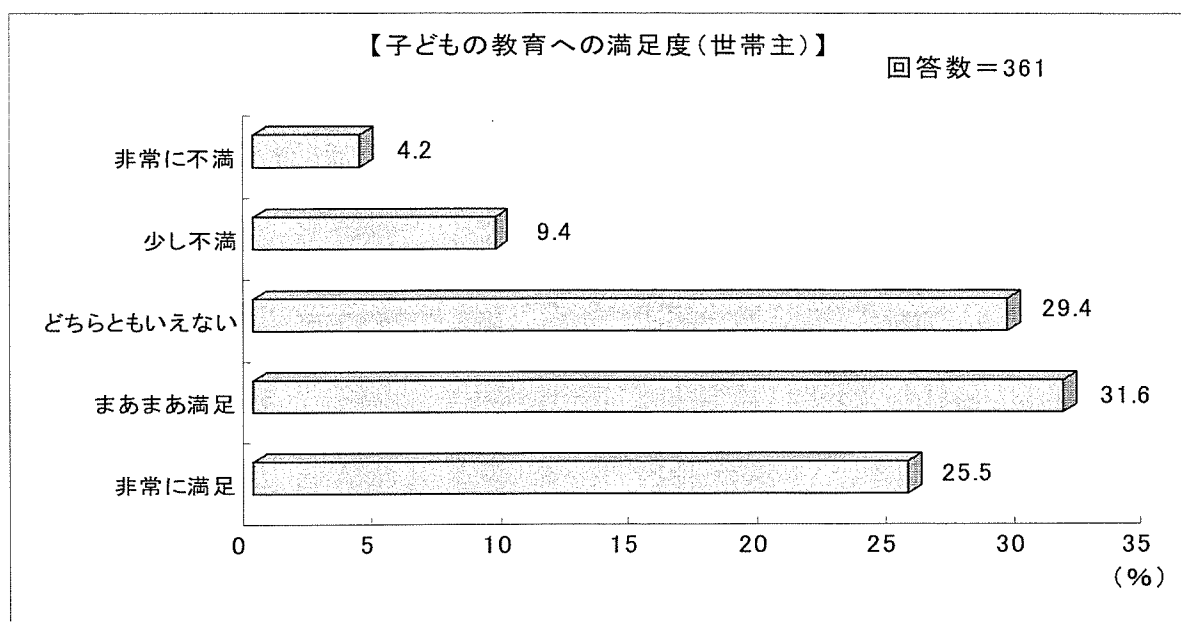
日本人との付き合いに関しては、「どちらともいえない」(38.9%)を除くと、「まあまあ満足」が23.1%、続いて「少し不満」の16.0%という順番になっている。「まあまあ満足」(23.1%)と「非常に満足」(12.0%)を合わせると35.1%、「少し不満」(16.0%)と「非常に不満」(10.0%)を合わせると26.0%となり、満足しているグループの方が、10パーセントポイントほど高い。しかし、問13の項目の中では、「医療環境」に次いで満足度は低い。

5-16. 自分たちの将来（世帯主）（問 13）



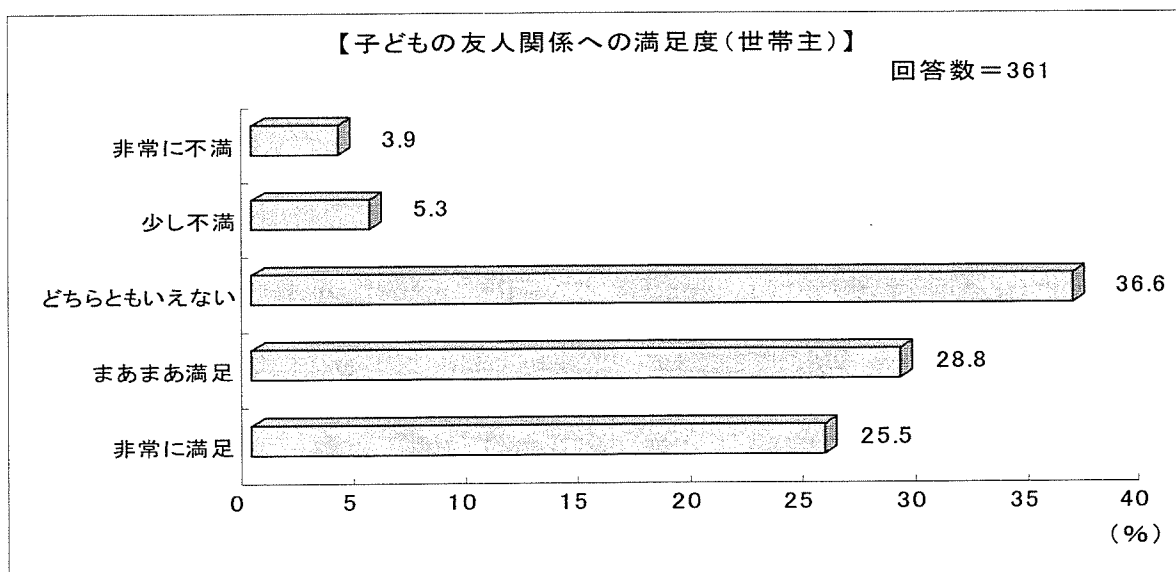
自分たちの将来に関しては、非常に明るい見通しを持つ者の割合が高い。将来のことなので、「どちらともいえない」の割合が40.6%と特に高くなっているのであろう。それでも「まあまあ満足」(30.8%)、「非常に満足」(16.0%)を合わせると46.8%に達する。「少し不満」(8.9%)、「非常に不満」(3.9%)を合わせると、12.8%となる。

5-17. 子どもの教育（世帯主）（問 13）



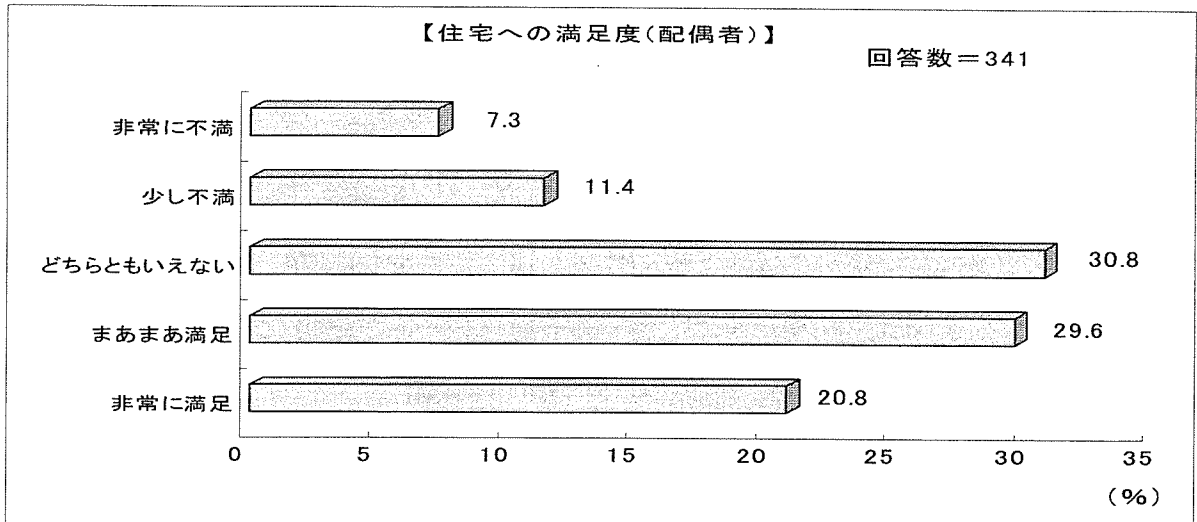
意外なことに、子どもの教育に関して満足度は非常に高い。「まあまあ満足」が 31.6%で、どの項目でもたいてい一番高い「どちらともいえない」の 29.4%を上回っている。「まあまあ満足」に続くのが「非常に満足」の 25.5%で、両者を合わせると 57.1%の世帯主が子どもの教育に満足を示している。一方、「少し不満」は 9.4%、「非常に不満」は 4.2%で、合わせて 13.6%に達する。

5-18. 子どもの友人関係（世帯主）（問 13）



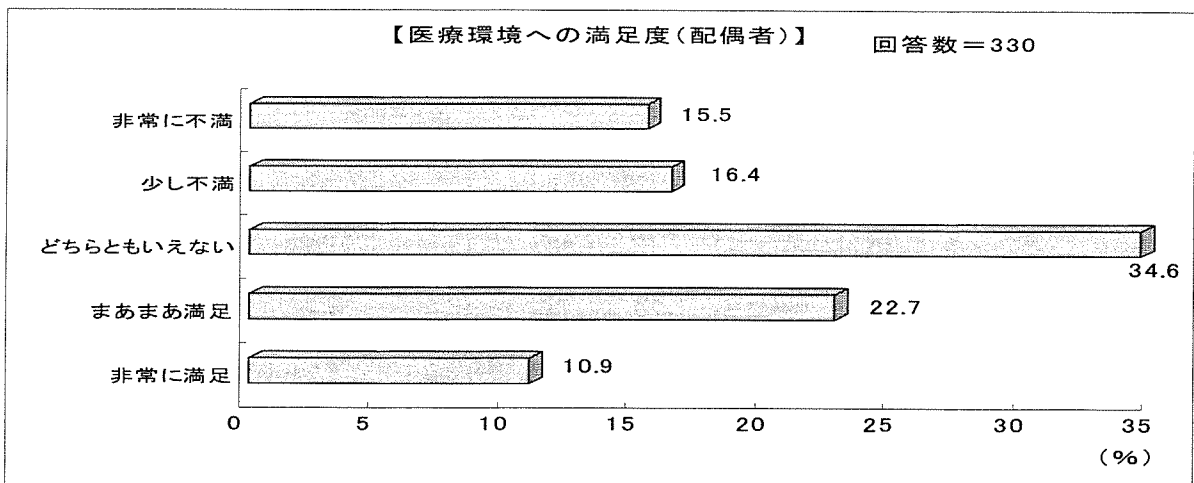
子どもの友人関係に関しても、比較的満足度は高い。「まあまあ満足」が 28.8%、「非常に満足」が 25.5%で、両者を合わせると 54.3%に達する。不満を持つ者は、「少し不満」(5.3%)と「非常に不満」(3.9%)を合わせて 9.2%である。

5-19. 住宅（配偶者）（問 13）



住宅については、「どちらともいえない」の30.8%を除くと、次に多いのが「まあまあ満足」の29.6%、それに続いて「非常に満足」の20.8%である。両者を合わせると住宅に対して満足と回答しているのは、約半分である。「少し不満」(11.4%)と「非常に不満」(7.3%)がそれに続き、不満を表明しているのは、18.7%となる。住宅に関する配偶者の満足度の分布は、世帯主のそれとほぼ同様の傾向を示している。ただ、配偶者の方が不満を持つ割合が若干高い。

5-20. 医療環境（配偶者）（問 13）



医療環境については、「どちらともいえない」が34.6%を占めているが、これは世帯主の場合と比べると6パーセント・ポイントほど低い。配偶者の方が自分の妊娠・出産や子どもの病気等で医療施設を利用したことのある者が多いためかもしれない。「まあまあ満足」(22.7%)、「非常に満足」(10.9%)を合わせて33.6%を占めるため、約3分の1が満足していると言えるだろう。「少し不満」(16.4%)、「非常に不満」(15.5%)は合わせると31.9%になり、満足派と不満足派と二極化している様子がうかがわれる。